

## 職域でのウイルス検査受検率向上に向けた研究

研究分担者：本田 浩一 大分大学医学部消化器内科 講師

**研究要旨：** B型肝炎、C型肝炎ともほとんどの患者の肝炎鎮静化やウイルス排除が可能となったが、自身の肝炎ウイルス感染について知らない人が多いことが問題となっている。本研究では職域検診における受検率向上のため、協会けんぽ大分支部と連携し、新バージョンの説明用紙を作成した。また、肝炎ウイルス検査を複数回施行する受検者も多いため、重複検査防止対策が必要と考え、同時に肝炎シールを渡す方針とした。大分県全体での運用およびアウトカムの確認は協会けんぽへの負担が大きく困難であるため、来年度からはまず大分市（人口 47 万人）で運用を開始する予定である。

### A. 研究目的

近年、B型肝炎やC型慢性患者に対する抗ウイルス療法が進歩し、ほとんどの患者の肝炎鎮静化あるいはウイルス排除が可能となった。一方、自身のウイルス感染について知らない患者や、ウイルス検査が陽性であっても有効な治療が行えていない患者も多い。本研究は肝炎ウイルス陽性者に対する受検・受診・受療を進めていくための有効的なシステム構築を目的とする。

### B. 研究方法

職域における検診の普及については、職域領域で検診者の多い、協会けんぽ大分支部に、福岡県で活用されている検査説明書と説明書変更による検診者の増加および早期治療介入によりウイルス肝炎患者の重症化を予防できることが利点であることを説明した。また、協会けんぽでのウイルス肝炎検査者数の推移や陽性者数、その後の follow up の結果などについても調査可能か質問した。その後、協会けんぽの協力を得

て、大分県版のウイルス肝炎検査説明書を作成し、大分市内の協会けんぽ関連の検診施設に配布した。

### C. 研究結果

協会けんぽ大分支部を初めて訪問した時に、新しい説明用紙への変更、全県の検診機関での運用、検診者数の推移、follow up 率などの調査が可能かどうかについて質問した。まず、新しい説明用紙への変更については、福岡県で使用しているものを大分県バージョンに変更することで運用可能であることを確認した。検診者数の推移、follow up 率などの調査については、可能かどうかは現時点では不明ということであった。また、全県での調査には人手がかかるため困難ということであった。また、新リーフレットに変更するには印刷費用がかかるということも問題であった。以上のことより、印刷は研究費を用いて行い、運用範囲は大分市内（人口約 47 万人）に限るという条件で運用を始めることとなった。その後、数回にわたり協

会けんぽにアプローチし、新しいバージョンの説明用紙による運用を来年度より開始する前準備ができた。

**肝炎ウイルス検査のお知らせ**

協会けんぽでは生活習慣病予防健診と同時に  
肝炎ウイルス検査を実施しています。

2,041円の検査が612円で受けられます！※  
特別な検査は必要ありません！  
(一般健診の採血の時に同時に採血します。)

※: 過去に0型肝炎ウイルス検査を受けたことがある方は受診できません。  
※: 消費税率が10%へ変更された場合は524円になります。

**肝炎とは...**

肝炎は、肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。  
肝臓は「食毒の臓器」と呼ばれ、自覚症状が現れにくいため、血液検査によって「早期発見・早期治療」を行うことが重要です。  
輸血や手術の経験がない方でも感染している可能性があるため、積極的に受診されることをお勧めします。(検査は任意です。)

今まで受けたことのない方、または受けたかどうか分からない方は、この機会にぜひ受けてみてください。

お申し込みは、裏面をご覧ください！

全国健康保険協会 大分支部  
けんぽけんぽ

検査をご希望の方は、下記申込書をご記入の上、健診実施機関の窓口に直接提出してください。

**肝炎ウイルス検査申込書**

私は、C型肝炎ウイルス検査を申し込みます。※1

平成 年 月 日

検査	①・②のうち、検査する項目の左枠内に○を丸で囲んでください。
	①生活習慣病予防健診の一般健診に併せて申し込みます。
	②一般健診を実施した結果、GPTの値が35U/L以上であったため申し込みます。※2

氏名	
保険証の記号・番号	
生年月日	
住所	
電話番号	

※1 この申込書は、受診者自身の申告のうえ、検査及び健診等による健康指導(特定保健指導を含む)健康相談窓口へ個人提供される方法での検討・調査研究に提供いたします。  
※2 上記に該当する方は、健診時の受診が必要です。詳しくは、健診機関窓口にお問い合わせください。  
※3 申込書は、生活習慣病予防健診実施機関(けんぽけんぽ)にて回収いたします。

健診機関名

職域検診での問題点は、以前の肝炎ウイルス検査結果を受検者が忘れており、複数回にわたり検診を受ける者が多いということである。新しいウイルス肝炎検査説明書により検診受検者が増えた場合、協会けんぽの金額的な負担も増えると予想されるため、検査説明書を渡すときに肝炎シールも同時に配布してもらうこととした。肝炎シールは大分県独自の試みとして、これまでに一部の病院や薬局での配布を行っていたが、活動範囲が一部に限られ、あまり広まっていなかったという問題点を有していた。検診

者に対する肝炎シールの配布は自身の肝炎ウイルス検査の結果を長期的に保存できるため、重複検査の防止に有効ではないかと考えている。

**肝炎ウイルス検査を施行した方へ**

**1. B型肝炎ウイルスの検査結果について**

HBs抗原陽性	現在B型肝炎ウイルスには感染していません。
HBs抗原陰性	現在B型肝炎ウイルスに感染している可能性があります。肝臓専門施設の受診をお勧めします。

**2. C型肝炎ウイルスの検査結果について**

HCV抗体陽性	現在C型肝炎ウイルスには感染していません。
HCV抗体陰性	C型肝炎ウイルスに感染している可能性があります。肝臓専門施設の受診をお勧めします。

肝炎ウイルス検査は何回も受ける必要はありません。そのため、検査の結果を覚えてください。

**肝炎シールをお役立てください。**

自分のお持ちのシールと、お薬手帳に貼付

ご自分の分かりやすいものにお貼りください

大分大分県立総合医療センター  
097-586-5504

#### D. 結論

職域検診については協会けんぽと連携し、新バージョンの説明用紙による運用と肝炎シールを用いた重複検査防止対策を来年度から開始する。

#### E. 健康危険情報

なし

#### F. 研究発表

なし

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他

なし